

(別紙2)

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームほほえみ

作成日 令和 元年 11月 5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域ののつきあいのなかで、これまでは自治会や地域主催のイベントには参加してきたが、事業所主導の地域交流が行えていない。	積極的に地域と関わりを深める。	認知症介護に特化した事業所として地域住民の方々にホーム見学会、お茶会や介護教室を開催して、地域交流を深める。	6ヶ月～1年
2	6	職員への身体拘束の研修を行い理解を深めているが、身体の物理的拘束以外の拘束について理解を深める必要がある。	スピーチロックやドラッグロックをなくす。	研修を行い物理的拘束以外の拘束について学ぶ。スピーチロックについては職員間で相互チェックを行い無くすよう努める、	6ヶ月～1年
3	33	重度化や終末期に向けたあり方について、利用者やご家族に十分な理解を得られるように話し合いを持ち、支援を行う必要がある。	最期まで安楽で、本人らしく生きる。	事業所での出来ることを整理しておき、利用者やご家族が最期まで安心して生活できるように、医療と介護の両面からサポートを強化する。	6ヶ月～1年
4	35	災害が起こったときの避難の際、安全に避難するためのマンパワーや対策に不安がある。	災害時の安全な避難行動	避難訓練のときに近隣住民方にも参加してもらい、利用者の安全な避難のための協力をお願いする。	6ヶ月～1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。